

紀要「沖縄文化研究」発刊の辞

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

沖縄文化研究

(巻 / Volume)

1

(開始ページ / Start Page)

3

(終了ページ / End Page)

4

(発行年 / Year)

1974-06-20

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00015483>

紀要「沖縄文化研究」発刊の辞

東南アジア文化の研究はインド・ゲルマン文化に端を発するヨーロッパ研究にとっても、無縁のものとは言えないが、日本文化の研究にとっては、その根源をさぐる手懸りとして重要である。日本文化は歴史的には中国文化の影響を受けながら、独自の精神的な芯を持ちつづけて来たが、この文化形態を端的に示しているのは、小さな島の地域としての沖縄である。基盤は南方的で、その後大きく北方の要素を受け容れることになったといわれている日本文化は、その点でも沖縄の地域史が、このような島国の特徴を象徴的に示してくれる。

本学は明治、大正年間には、中国との文化交流を積極的に展開した時期があつて、数多くの有力な中国留学生を輩出した。創立百年を近く迎えようとする本学は、その眼をさらに東アジア、南アジアにも向け、平和と人間尊重の立場に立って、多くの諸民族文化との接触につとめたいと考える。この時、接点となり架橋となるものは地域的にみて、沖縄諸島を中心とした南島の研究であることは明らかである。

本研究所は軍政下から本土復帰に至るまでの人道主義と平和のために大きな役割を果たした中野好夫先生の沖縄資料センターを継承したものであつて、同機関の創設の精神に則っている。われわれは、このよう

な立場に立って、世界のなかのアジア文化研究の一拠点として沖縄を中心とした南方文化研究を進めんとするものである。

一九七四年

法政大学沖縄文化研究所